



八小だより

令和5年10月31日
府中市立府中第八小学校
校長 松下 雄太

No.7

<http://www.fuchu08s.fuchu-tokyo.ed.jp/>

かんじんなことは、目には見えない

校長 松下 雄太

秋の夕暮れ、真っ赤に染まった西の空に、富士山と東京競馬場の塔が、シルエットのように浮かび上がる美しい光景が、校舎から見られました。待ちに待った校庭の芝生と遊具が開放され、子供たちは、ジャングルジムの上で笑い合ったり、雲梯にチャレンジしようとするワクワクしながら並んだりしています。ブランコや登り棒も人気です。芝生の上で、相撲を取る子供たちもいます。過ごしやすい季節に、思い切り体を動かして、みんなで仲良く遊んでいます。

先日、校内田では稲刈りが行われ、子供たちが、黄金色に輝く稲穂を刈り取りました。その時、印象に残ったのは、「ふだん食べているお米は、こんなに手間がかかっているのか。」とつぶやいていたことです。稲作活動は、稲の生長を知るだけでなく、お米ができるまでには、多くの人の努力や苦労があることを、学ぶ機会にもなっています。

スピードスケートの小平奈緒選手は、数年前の台風で千曲川が氾濫し、リンゴの生産地が被災したとき、ボランティアとして、重油がしみ込んだリンゴ畑の土を、取り除くという作業をしました。翌年の大会で、見事に優勝した時、万感の思いでこう語りました。「リンゴの実がなるまでに、すごく大変な作業があると知った。それに自分を重ねて、自分の実がなる姿を、皆さんと共有したい。」被災地を勇気づけるために、不撓不屈の努力を自分に課し、それが実を結んだ優勝だったのです。

また、家族という幸せな時間も、目には見えません。当たり前のようにある、普段の生活が、いかに幸せでかけがえのないものか。新聞の投書欄に、ある高校生がこう書いていました。「小学生の頃、私の母が、病気で長期入院した経験がある。そのときの寂しさは、忘れることがない。私にとって、本当に大切なのは、目に見えるたくさんのおもちゃではなく、家族であると感じた。」

数年前、本校の5年生（現中学1年生）も、長野県飯山市での宿泊体験学習の感想に、このように綴りました。「家族のことをより大切に思えるようになった。前までは不満に思ったこともあったけど、それは、家族がいるから思えることだと実感した。」当たり前のようにある毎日の生活の中に、大切なものが隠れている、そのことに気付いた深い学びだと思います。

「かんじんなことは、目には見えない」は、サン＝テグジュペリ作『星の王子様』にある言葉です。学校では、休み時間、遊具で思い切り遊んだ子供たちが、手にできた豆を誇らしげに見せてくれます。

「これは、頑張った証拠、努力の勲章だよ。」と褒めると笑顔で、教室に帰っていきます。教室を回れば、短くなった鉛筆や、文字で真っ黒になったノートから、子供たちの粘り強さが伝わります。みんなの前で発言したときの勇気や、自分たちの力で問題を解決した体験は、将来の自分に必ず生きるでしょう。毎日の生活の中で、かんじんなものが、たくさんあることを忘れず、子供たちの成長を温かく見守り、学校とご家庭、そして地域全体で、大切にしていきたいと考えています。



芝生の上で「はっけよい、のこった！」

稲刈り

5年

4月から育ててきた稲は、立派な穂をつけ、遂に稲刈りの季節となりました。10月17日に3名の地域講師の方々と、PTA本部、保護者の方々にもご協力いただき、無事、稲刈りを終えることができました。

子供たちは、鎌の使い方を教えてもらい、稲を黙々と刈る様子がたくましく、大変貴重な経験となりました。初めは、上手にスパッと刈れず、苦戦していましたが、慣れてくると上手にサクサク刈れるようになっていました。稲刈りを終えると「楽しかった～！まだやりたい！」と笑顔で満足そうな子供たちが微笑ましかったです。

11月は、脱穀と粃摺りが行われます。少しずつお米になるための道が進んでいます！最後まで責任をもって取り組みたいと思います。



タグラグビー教室

4年

体育の授業でゴール型のタグラグビーが始まりました。子供たちは慣れないボールの形や、ルールに戸惑いながらも、攻守の動きを工夫して取り組んでいます。

25日(水)に「東芝ブレイブルーパス東京」の選手をお招きして、タグラグビー教室を行いました。パス練習やタグ取りゲームなど、基礎の練習を教えてくださいました。子供たちは楽しそうに声を出しながら、練習をしていました。45分間聞いたり動いたりして「疲れた～。」「楽しかった。」と声が出ていました。プロのパスと実際の動きを見て、学ぶことが多くありました。

質疑応答の時間もあり、チームの悩みを聞きアドバイスをもらえました。これからの体育のゲームに活かしてほしいと思います。



社会科見学

6年

10月24日(火)に社会科見学に行きました。今回は、国会議事堂・上野恩賜公園・国立科学博物館に行きました。国会議事堂では、国会内の見学だけではなく、参議院体験プログラムに参加しました。代表児童11名が参議院議長や大臣、委員役など、役割をもらい、模擬委員会・模擬本会議を行いました。他の児童は、法案についてボタン投票をして参加しました。貴重な時間を過ごすことができました。

国立科学博物館では、班行動で見学しました。展示を見るだけではなく、体験ができる場所もあり、楽しく学ぶことができました。小学校生活最後の社会科見学、充実した1日にすることができました。



畑見学

3年

10月23日(月)に古川さんの畑にお邪魔させていただきました。畑見学をしました。古川さんのお仕事内容や野菜を売するための工夫、府中市の野菜の出荷量についてなど、いろいろな話を聞きました。ビニールハウスが開く様子や穴を開けたホースでいっぺんに水を撒く様子など一つ一つに「すごーい！」とキラキラした目で感動している姿が微笑ましかったです。見学の最後には府中市野菜クイズを出してもらい、楽しみながら農業について学ぶことができました。



警視庁騎馬隊とのお別れ

1年

10月23日(月)に騎馬隊の馬と触れ合う機会をいただきました。今まで清水下交差点付近で登校時の見守りをしてきていたので、子供たちにとって親しみがあるようでしたが、直接触れたことはない児童も多くいました。近くで見ると、大きさと動く迫力に「かっこいい!!」と嬉しそうな様子で、触れてみると、「毛がサラサラ。」「鼻が少しぬれている。」と気付くことができました。

12月になると、騎馬隊は世田谷の馬事公苑に戻り、本校での登校の見守りはなくなります。「ありがとう」の気持ちを全員で伝え、お別れしました。



影絵体験教室(1・2・4年) 2年

10月24日(水)に、笑顔と学びの体験プロジェクトの一環として、影絵劇団「かしの樹」による影絵体験教室がありました。耳では臨場感のある朗読、目ではスクリーンに映る透明な色彩の影絵による『あらしのよるに』のお話を鑑賞しました。子供たちはお話の世界に入り込んで、夢中になって鑑賞し、思わず涙ぐむ子が何人もいました。第二幕は、影絵に使う人形を見せてもらい、仕組みを教してもらいました。

鑑賞後は、「感動した!」「続きの話が読みたいな。」と友達と感想を伝え合っていました。



11月の生活目標

物を大切にしよう

自分の物には名前を付けよう。

使った物は、元に戻そう。

傘立てを整理して使おう。

2023
11月

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
30	31 感染症予防のため 延期となりました。→	01 避難訓練 読書月間始 たてわり班活動(延期) 消防署見学(3) ㊀	02 集会 消防署見学(3)	03 文化の日 フォーリスカッフ	04	05
06 朝会 すこやかウィーク始	07 安全指導 脱穀(5)	08	09 音楽集会 委員会 ㊀	10 朝読書 ㊀	11	12 すこやかウィーク終
13 朝会	14	15 脊柱側弯症検診(5) ㊀	16 体育集会 歯科検診(2)(4)(6) ㊀	17 朝読書 展覧会児童鑑賞日	18 土曜授業 展覧会 ㊀	19
20 振替休業日	21 色覚検査(4) 展覧会片付け(5) ㊀	22	23 勤労感謝の日 ㊀	24 朝読書 保護者会(5)(6)	25	26
27 朝会 保護者会(1)(2)	28 保護者会(3)(4) 社会科見学(5)	29 クラブ活動 ㊀	30 歯科検診(1)(3)(5) 読書月間終 校内研究授業 6-3のみ5時間授業 他は給食後下校 ㊀	01	02	03

※ 今後の状況に応じて、予定変更になる場合がありますのでご了承ください。

《学校公開・道徳授業地区公開講座》

10月28日(土)に道徳授業地区公開講座が開かれました。各学級で道徳の授業を公開し、4校時には警視庁第二交通機動隊騎馬隊本部付 宮崎いずみ様、本校PTA会長 鈴木 敬一郎様のお二人をゲストにお迎えし、「人との関わりの中で育つ子供たち」をテーマに講演会を行いました。ご来校ありがとうございました。



【持久走期間】

11月16日(木)～12月15日(金)は持久走期間として、全校で持久走(約3～5分間走)に取り組みます。中休みや体育授業の中で持久走を行うにあたり、体調面などご心配なことがございましたら担任までお知らせください。

【ふれあい月間】

学校では、今月「いじめ・暴力見逃しゼロ」を再確認していきます。学級ごとにあたたかい言葉をつかうことも指導していきます。ご家庭でも親子のふれあいを通して絆を深めてください。

【読書月間】

今月は読書月間です。本に親しみ、心を豊かにしていきます。ご家庭でも読書する子供たちを励ましてあげてください。親子で本について楽しく語り合える機会になることを願っております。